

# 10

真理への道講座

## 足りない一つのもの



## はじめに

「百貨店主と呼ばれたジョン・ワナメーカーはあるとき、伝道者ビリー・サンデーを案内して、自分の所有する大きな百貨店を見せ、こう言いました。『この店の中のものならば、何でもお好みにしたがって差し上げます』。しかしビリー・サンデーの求めたものは、『この世界最大のデパートの所有者の友情』でした。

今、多くの人々がモノを求めて、この世界にモノよりも尊いものがあることを忘れていきます。この世界を所有し、人を愛しておられる神の友情は人間の求め得る最高のものです。

あなたの選択は、あなたの生涯を決定するばかりでなく、家庭の幸福、社会の将来、国家の運命を決定するものとなります。今日、私たちの生活をきよめ、社会を救うのはイエス・キリストの福音よ

り他はありません。この救いの福音こそ、今日の全世界にあるすべての問題に対して完全な解決を与えるものです。たとえ困難があるようにみえても、神に従う道は喜びに満ちたものであり、その彼方には永遠の希望と神の栄光が輝いています」  
(山形俊夫)。

この通信講座は、キリスト教の背景のない人々のために山形俊夫博士によって著されたキリスト教入門書『真理への道』(福音社)を通信講座用に編集したものです。1952年(昭和27年)に発行された名著が65年ぶりに通信講座となつてよみがえりました。この通信講座を学ぶ皆様は、イエス・キリストにある恵みと救いの福音に触れることができるようにお祈りいたします。

### この講座を勉強する方へ

- ・もしお持ちであれば、聖書を手元に置いて学びをはじめてください。
- ・最初に本編をお読みください。
- ・設問用紙は真ん中のページにあります。ホッチキスを外すか、コピーしてください。
- ・設問用紙に答えを記入し、郵送・FAXなどでご返送ください。
- ・添削した設問用紙と次のテキストをお送りします。
- ・その他、具体的なことは、担当者にお問い合わせください。

# 足りない一つのもの

「イエスが道に出て行かれると、ひとりの人が走り寄り、みまえにひざまずいて尋ねた、『よき師よ、永遠の生命を受けるために、何をしたらよいでしょうか』(マルコによる福音書10章17節)。

この質問をしたのは若い役人でした。彼は財産を持ち、また高い地位を持っていました。地上の生活に関するかぎり何の不足もないように見えた人でしたが、彼の心には何か空虚なものがあつたのです。一生懸命にまじめな生活をしているつもりでした。しかし、何となく心が満たされないのです。寂しかったのです。どうしたら本当に生命の躍動するような生活ができるのだろうか。喜びと満足に満ちた生活に入れるだろうか。そんなことを考えていたとき、彼はイエスが幼児を祝福されるのを見ました。イエスの愛に満ちた姿

が彼の心をとらえたのです。この方ならばきつと自分の空虚な心を満たしてくださるに違いない——こう思った青年は、走りよって、自分の魂のためにも、また私たちにとつても、重要な問題をイエスに問いかけたのです。

「永遠の生命を受けるために、何をしたらよいでしょうか」

イエスはこの問いに対して、戒めを守れと言われました。そして人に対する義務を規定している数か条の戒めを引用されました。

青年が「先生、それらのことはみな、小さいときから守っております」と答えたとき、イエスは、「あなたに足りないものが一つある。帰って、持っているものをみな売り払って、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになる。そして、わたしに従ってきなさい」(マルコによ

る福音書10章20、21節」と言われました。

この青年は有能な人でした。また彼は誠実でした。もし彼がイエスに完全に従うならば、よい協力者となるであろうことを知っておられたので、イエスは目をとめ、いつくしんで言葉をかけられたのです。

「あなたに足りないことが一つある」

ただ一つではありましたが、これは致命的なものでした。神の愛を信じ、これを受け入れ、神を愛する心が欠けていました。彼の宗教生活はただ外面的なものにすぎなかったのです。

キリスト教の信仰経験の中心は、キリストとの人格的交わりです。イエスを信じ、イエスを愛し、イエスにすべてをおゆだねしていく生活です。聖書を読み、教会に出

席しても、もし今もなお生きて私たちを導いてくださるイエスとの交わりを失ったとき、信仰生活は形式となり、生命のないものとなってしまふのです。

この青年はまさにそのような生活をしていたので。信仰が単に理論であり、一種の人生哲学としてのみ理解され、実際にイエスの品性に触れ、イエスと交わっていくことがないため、心が本当に満たされることがないので。

スタンレー・ジョーンズ博士が来日したとき、「日本にはキリスト教を信じないで神学を論じる人がいる」と言いました。このような人はキリスト教の真髄に触れることはできません。

聖書の中には、イエスを知り、イエスと交わる経験について書かれています。しかし今日、イエス

と交わるということは人々に神秘的なイメージを与えます。どうしてそんなことが起こりうるかと問う人がいます。あるいは今日の科学から考えれば、そんなことはあり得ないと言う人もいます。そして宗教や信仰といったものは、人間の思考の産物にすぎないと主張します。

しかし人間はすべてのことを説明することができると思ってはならないし、また説明のできないことは真実ではないと考えることもできません。

人間同士の人格的な交わりや、愛という感情の仕組みについて心理学的に説明せよと言われたら、すべての人を納得させるような満足な説明は、おそらくだれにもできないでしょう。しかし事実、私たちはそれを体験することができ、人生の喜びがそこからわき

## ダミアン神父 (1840-1889年)

アメリカ大陸のハンセン病患者が隔離されたハワイ諸島・モロカイ島。この地にあるハンセン病患者の病院には、ベッドもなく、医者もいません。病人たちは薬さえも与えられないままに放置されています。まるで死を待つ墓場の待合室のようでした。

寒さと空腹と苦痛にさいなまれ、家族もなく、気づかってくれる人もなく、希望をすっかり失ってしまっただ人々は、自暴自棄になり、酒に溺おぼれていました。

そこへある日、1人の宣教師が来ました。ベルギーから来た青年、ダミアン神父でした。彼は、その現状を目の当たりにして愕然がくぜんとしました。

「彼らのために仕えよう。そのためなら、この命をも喜んで捧げたい」

ダミアン神父はそう決心しました。

水不足のために、患者たちは傷口が洗えず、不潔な包帯のまま度過すごしていました。それに気づいたダミアン神父は、早速、資材を調達し、貯水池から村まで8キロにもおよぶ水道管を引きました。

また元建築家であった彼は、元氣そうな若者を選んで青年隊を組織し、教会を建て、患者たちの家を次々に建てていきました。

ダミアン神父がこの島に来てから、病人たちのみじめな生活は少しずつ人間らしさを取り戻していきまし

た。もう彼らは見捨てられた人々ではなかったのです。彼らは、ダミアン神父がいつも彼らのために心を砕いていることを知っていました。愛してくれる人がいる、この喜びを思い出したのです。

ダミアン神父は患者たちと一緒に地べたに座り、同じ食器から同じものを食べました。彼らが血の滲にじむ指で取り分けてくれた食べ物を、臆おそわずに口にしました。重病人の家を訪問し、ベッドに腰掛けて彼らを慰め、傷口の手当をしました。

ダミアン神父の大胆な行動に、患者たちの方から感染を気づかうことさえあったと言います。しかしダミアン神父は、そんな患者たちにこう答えたと言っています。

「私が病気になっても、神様が復活の日に新しい体をくださるから大丈夫。大切なのは、今、あなたの魂を救うことです」

やがて発病した彼は、その病気をむしろ喜んだのです。「これで患者たちの痛み、苦しみに、もっともっと近づけることができる」と。

最後の最後まで患者たちのために仕え、命を捧げたダミアン神父の墓標には、「友のために命を捨てるより大きな愛はない」というイエス・キリストの言葉が刻まれています。

(参考 本田弘慈著『宣教の情熱』)

あがってきます。

人間と神との関係も同じように考えられます。初めに人は「神のかたち」にかたどってつくられました。人間と神との間には、人格的な共通性があるのです。そこで人間と神との交わりが成立するのです。罪を犯した後、直接の交わりは絶たれましたが、悔い改めて神に帰る者に、神はご自分を現してくださるのです。これは驚くべき事実であり、体験です。また人生の旅路における唯一の力強い慰めです。

「それらのことはみな、小さいときから守っております」と言ったこの青年は、自分の本当の姿を悟っていませんでした。自分は正しい生活をしていると思っても、それはあてにはなりません。自分をあざむいている場合もあるので

す。人間の良心でさえ、絶対に正しい規準とはなりません。自分に罪はないと言う人は、その良心の低劣さをあらわしていることさえあります。

イエスはこの青年に、彼の本当の姿を示そうとされました。イエスは富を否定されたものではありませんでした。ただ「神に仕え、神の戒めを守った」と主張している彼の心の中に、なお自我を愛する気持ちが強く残っていることを指摘されたのです。

自我を愛することは、すべての罪の根です。この世界に罪が入ってきたのも、この道を通ってでした。人生のあらゆるみじめなことが、自我を愛するみにくい心から起こってくるのです。

「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従っ

てきなさい」(マタイによる福音書16章24節)とイエスは言われました。「自我を捨てる」ということがイエスの教えられた道でした。すべての利己的なものが捨てられ、全くキリストの支配のもとに自らをゆだねていくときに、生活がきよめられるのです。この青年は、神を選ぶか、自己に仕えるかを決定しなければなりませんでしたが、彼は地上の富を持っていました。そしてこれを得るために、自我を取り去らなければならなかったのです。しかし彼はイエスの言葉に従うことができませんでした。「この言葉を聞いて、顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである」(マルコによる福音書10章22節)。

この日、彼は寂しい心を抱いて、自分の大きな邸宅に帰っていった

## 【設問用紙の送り方】

- ・設問用紙に解答、名前、性別、住所など必要事項を明記の上、設問用紙のホッチキスを外すか、コピーやスキャンなどをしてご返送ください。

### ※郵便で送る場合

- ・市販の封筒、またはテキストに同封して送られてくる返信封筒で、次の宛先までお送りください。

〒 241-8501 横浜市旭区上川井町 846  
VOP バイブルスクール 行

1 課ずつではなく、一緒に送られてきた複数課の設問用紙をまとめてお送りいただいで結構です。

### ※ FAX で送る場合

- ・郵送同様、必要事項をご記入の上、解答面を間違わないように次の番号まで送信してください。

FAX 番号：045-921-2319

- ・設問用紙に、名前などの必要事項を明記いただければ、別紙（FAX 送付状）をつけていただく必要はありません。

### ※ E メールで送る場合

- ・解答面をスキャンするなどして、PDF または JPEG データでお送りください。内容が読み取れるか送信前にご確認ください。件名に「真理への道答案」と必ず明記してください。

アドレス：info@vopjapan.net

送信後、担当者から受信メールをお送りします。休日を除き72時間以内にメールが来ない場合は、受信できていない可能性がありますので、ご確認ください。

- ★どの方法で解答を返送していただいても、添削した設問用紙と次のテキストは郵送いたします。

ご意見、ご感想をお聞かせください。

フリガナ お名前	登録番号
ご住所 〒   電話番号 (            )	



第 10 課

VOPバイブルスクール  
真理への道講座・設問用紙

**質問1** 「永遠の命を受けるために、何をしたらよいでしょうか」と質問した若い役人の心の状態は、どんなものでしたか。

- 何か空虚なものがあつた
- 自分の努力を認めてほしかった
- イエスを試そうとした

**質問2** イエスは「あなたに足りないことが一つある」と若い役人に言われました。それは何でしたか。

- 永遠の命を得るための努力
- 神の愛を信じ、これを受け入れ、神を愛する心
- 聖書の理解力

**質問3** イエスが否定されたのは何でしたか。

- 富を持つこと
- 戒めに従うこと
- 自我を愛する気持ち

**質問4** 与える生活が、私たちにもたらすものは何ですか。

- 真の幸福と喜び
- 空虚感
- 貧困

# 10

のです。

人は生まれながらにして自己中心の生活を求めます。神を愛し、人を愛するより、自分を愛するものです。しかし、イエスは自分のために生きる生活に本当の喜びはないことを教えてくださいました。

今は罪のためにゆがめられています。利己的になった人間の心以外は、自然のもので自分のために生きています。空飛ぶ鳥も、野の獣も、他の生命のために奉仕しています。植物は人間や動物が生きていくために、生命そのものを与えています。人間や動物はまた、植物の生命を支える要素を与えるのです。花が咲けば、その香りと美によってこの世界に祝福を与えます。人間の世界では「与えて取る」

(give and take)といわれますが、自然を流れている原理は、「与えるために取る」(take to give)です。それが宇宙の本質的な構造なのです。

イエスは地上におられたとき、「わたしは自分からは何もせず」「生ける父がわたしをつかわされ、また、わたしが父によって生きていくように」「わたしは自分の栄光を求めてはいない」「自分をかわされたかたの栄光を求める」(ヨハネによる福音書8章28節、6章57節、8章50節、7章18節)と言われました。これらの言葉の中に、宇宙を貫いて流れている生命の原則が見られます。イエスは父なる神からすべてのものを受けて、また与えられました。神からの生命が、イエスを通して流れ、これを受けた被造物の感謝と奉仕となって神に帰っていくのです。

与える生活は、真の幸福と喜びをもたらしません。人はそのようにつくられているのです。得ることに幸福があり、喜びがあると思っ

ている人がいますが、与えることにはもっと大きな喜びがあるので。愛されることに喜びはありません。愛する喜びはもっと豊かなものです。無私の奉仕——それはどんなに小さいことであっても、求める心なくして与えた経験を持った人には、このことがよくわかるはず。イエスが示された道は、最も辛い道でした。ディケンズのクリスマス・キャロルはこのことを暗示しています。どん欲に、自分のことだけ考えて、一生満たされない心で過ごした主人公スクルージの心に、与える喜びがはじめてわかったときに、新しい人生が開けていったのです。

ナイチンゲールにも、リビングストーンにも、あるいはモロカイ島のハンセン病患者のために奉仕の生涯を送り、自分も同じ病気に感染したダミアン神父にも、この喜びが宿ったのでした。

若くして富めるこの役人は、その求めてやまなかつたもの——彼の生活の奥底に潜む空虚感を追い払い、満ち足りた平安な生活をもたらすもの——が彼にとって最も恐ろしい、全生活の破壊をさえ前提としなければならぬことを知ったとき、決心することができませんでした。信仰の道は冒険であり、一つの飛躍です。その飛躍のあなたに新しい生活が開けてくるのです。

私たちは努力すれば、あるいは一般的な道徳の水準まで到達する

ことができるかもしれませんが。事実、私たちはこのような努力を最高のものと考えています。しかしイエスは、「あなたに足りないことが一つある」と言われます。それを欠いているだけというのではなく、それをただ一つ欠いているゆえに、すべての努力がむなしいと言われるのです。

イエスはまた、「自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう」（マタイによる福音書16章25節）とも教えられました。私たちが自分の命を救うために行う、あらゆる努力も精進も、まず自己の罪を悔い、神に帰り、神を愛していくことがなければ、結局満たされることのない、はかない空回りに終わってしまうのです。

しかし私たちが自己を否定する

意味を真に悟ってキリストのもとに来るとき、私たちに与えられた素質がいかに貧しいものであっても、私たちの能力がいかに弱いものであっても、私たちのささやかな努力が実り多い奉仕となつて、周囲の人々に幸福をもたらすことができるようになるのです。自分に死ぬことによつて、周囲の人々への奉仕に生きることができます。「そして、わたしに従つてきなさい」というイエスの言葉に従つて、すべてを捨ててイエスに従う決心をするとき、周囲に対して祝福を与えることができるばかりでなく、自分自身も歓喜と平安に満たされる体験をすることができるのです。

## 瞑想のことば

キリストはこの役人の心を読まれた。彼にはただ一つ足りないことがあったが、しかしそれは重大な原則であった。彼はその魂のうちに神の愛が必要だった。この足りないところを補わなければ、それは彼にとって致命傷となるのである。彼の性質全体がだめになってしまうのである。甘やかしておく、利己心がますます強くなるだろう。彼が神の愛を受け入れるためには、自我に対する最高の愛を克服しなければならない。

キリストはこの男を試みられた。イエスはこの男に、天の宝と世俗的な偉大さのどちらかを選ぶように要求された。もし彼がキリストに従うならば、天の宝が保証された。しかし自我を放棄しなければならない。彼は神の聖潔そのものがこの若い役人に提供された。彼は神の子となり、キリストと共に天の宝を受け継ぐ者となる特権が与えられた。しかし彼は十字架をとりあげて、克己の道をキリストに従わねばならない。

キリストのことばは、この役人にとって、実に、「あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい」との招きであった（ヨシュア記24章15節）。選択は彼にまかされた。イエスは彼の改心を熱望しておられた。イエスは、彼の品性の欠点をお示しになり、そしてこの若者がこの問題をおしはかって考えたとき、何という深い関心をもってその結果を見守られたことだろう。もし彼がキリストに従うことを決心するなら、彼はどんなことにおいてもキリストのみことばに従わねばならない。彼は自分の野心的な計画を捨てなければならない。何という熱心な思いと魂のかわきをもって、キリストは、この若者が神のみたまの招きに応ずることを望みながら、彼をごらんになったことだろう。

続きは、『各時代の希望〈中巻〉』（文庫判、エレン・ホワイト著、福音社）、第57章「あなたに足りないことが一つある」をお読みください。

## 瞑想のことば

キリストは、この役人がクリスチャン品性を完成できるただ一つの条件を示された。キリストのみことばは、きびしく強要的に思えたが、しかしそれは知恵のことばであった。この役人が救われる唯一の望みは、そのみことばを受け入れ、これに従うことにあった。彼の高い地位と財産が、彼の品性に微妙な悪い影響を及ぼしていた。そうしたものに執着していると、彼の愛情の中から神が押しつけられるであろう。多くても少なくとも、神にさし出さないでおくことは、彼の道徳的な力と能力とを低下させるようなものとどめておくことであった。なぜならこの世の物を大事にしていると、それがどんなにあてにならない無価値なものであっても、それはすっかり心を奪うようなものとなるからである。

続きは、『各時代の希望〈中巻〉』（文庫判、エレン・ホワイト著、福音社）、  
第57章「あなたに足りないことが一つある」をお読みください。



聖書の視点で歴史を見直すとき、  
今をどう生きるかを学び、  
明日への希望を見いだします。

#### 明日への希望

エレン・G・ホワイト著

A5判／1,984頁

収録されている本——人類のあけぼの(上・下)、国と指導者(上・下)、  
各時代の希望(上・中・下)、患難から栄光へ(上・下)、各時代の大争闘  
(上・下)、キリストの実物教訓、キリストへの道、祝福の山。



#### キリストへの道(改訂第3版文庫判)

エレン・G・ホワイト著

文庫判／184頁

手軽に読めます！

#### 各時代の希望

エレン・G・ホワイト著

3巻セット

文庫判／上巻496頁、中巻512頁、下巻504頁



聖書のことは、

わたしたちを励まし、助け、希望へと導く宝です

#### みことば手帳

手帳サイズ(横91mm×縦156mm)／192頁



#### みことば手帳2 全員参加伝道編

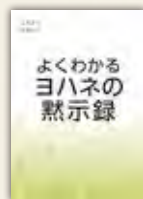
手帳サイズ(横91mm×縦156mm)／176頁

聖書を直接学ぼう！

#### よくわかるヨハネの黙示録

金棋坤著 柳鐘鉉訳

A5判／200頁



発行：福音社

福音社のオンラインショップ <https://www.fukuinsha.com>

表紙写真MaCC/PIXTA

VOPバイブルスクール 真理への道講座

第10課 足りない一つのもの

2017年12月15日 初版第1刷発行 2022年7月15日 初版第3刷発行

〒241-8501 横浜市旭区上川井町846 045-921-1416(電話) 045-921-2319(Fax)

本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。

本書は、『真理への道』(山形俊夫著、福音社、1962年発行改訂版)を底本として、聖書通信講座用に編集しました。

本文中の聖句で特記していない箇所は日本聖書協会発行『口語訳聖書』を使用しています。

1000P

## 真理への道講座

- 第 1 課 人生の謎
- 第 2 課 目に見えない世界
- 第 3 課 解決の鍵、聖書
- 第 4 課 世界と生命の起源
- 第 5 課 神
- 第 6 課 人生を暗くするもの
- 第 7 課 イエスの生涯
- 第 8 課 放蕩息子
- 第 9 課 だれでも新しく生まれなければ
- 第 10 課 足りない一つのもの
- 第 11 課 人生の苦難
- 第 12 課 主にゆだねた生活
- 第 13 課 聖書の歴史観
- 第 14 課 世界の将来
- 第 15 課 終末は近いか
- 第 16 課 安息日
- 第 17 課 死の彼方
- 第 18 課 使命を持つ教会